



関甲新学生野球 2部リーグ戦

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
新潟大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
新潟大学	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
本学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	1	新潟大学の棄権により不戦勝								9
新潟大学	0									0

2部
2位
に
終
わ
る

新潟大学戦
2勝1敗
勝点4

写真 1戦目、適時2塁打を放った1年菊池翼

2019年度関甲新学生野球・2部秋季リーグ最終戦・新潟大学戦は2勝1敗で当部が制しました。勝ち点4。

当部は今季2部リーグ第2位の成績を納めました。

【1戦目 10/20】常磐大学は、先発高橋国杜（2年）がテンポ良く打ち取っていく。4回表、先頭の2番櫻村昌樹（2年）が左線へ2塁打を、3番根本拓真（3年）も中前安打で続いてチャンスを広げると、1死後、5番菊池翼（1年）が右線への適時2塁打を決め、先制。6回にも満塁のチャンスを作るが無得点のまま、2-0。高橋は6回を2安打無失点で投げ終え、7回から佐藤拓海（2年）が継投、9回を大谷優人（2年）が締めた。投手陣の好投により勝利。2-0。

【2戦目 10/21】岩附詳陽（1年）が先発。守備のミスも重なりなかなかリズムに乗れない。攻撃は相手先発の左投手に苦戦が続く。両者無得点で迎えた4回表。岩附は先頭打者に安打を許し、守備のミスもあって1点を先制され、さらに適時打で1点を失う。常磐打線は2巡目で降も攻略の糸口を見いだせず、無得点が続く。6回から大谷が継投し、リズムの良い投球で0を並べる。我慢の投球が続いていた大谷が9回に追加点を許し0-3。9回裏、先頭の1番根本が左線2塁打でチャンスをつくるものの後続が続かず、試合終了。0-3。

【3戦目 11/3】新潟大学の棄権により不戦勝。（文・三河樹）

星取表 (2019年11月4日現在)

順位	大学	関東学園	本学	松本	宇都宮	埼玉	新潟	試合	勝	負	勝点	勝率
1	関東学園	△	☆☆	★☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	11	10	1	5	0.9
2	本学	★★	△	☆☆	★☆☆	☆☆	★☆☆	12	8	4	4	0.6
3	松本	☆☆★	★★	△	☆☆	☆☆	☆☆	11	7	4	3	0.6
4	宇都宮	★★	☆☆★	★★	△	★☆☆	☆☆	12	5	7	2	0.4
6	埼玉	★★	★★	★★	☆☆★	△	★★	11	1	10	0	0.1
5	新潟	★★	★☆☆	★★	★★	☆☆	△	11	3	8	1	0.2

応援ありがとうございました
体育会硬式野球部一同